



<<<< sciopero とともに >>>>

南周りの長旅を終えて降り立ったローマ空港で最初に聞きとれた言葉は sciopero だった。44 年前のことである。“sciopero”が耳に入ってきたとき、正確にはまだ「降り立っ」てはいなかった。空港のストライキだったのだ。やがてネクタイにスーツ姿の管理職のおじさまが運んでくれたタラップを降り、アリタリアの機体の下で受け取ったスーツケースを引っぱって、ほかの留学生ともども税関をフリーで通り抜けた。これが記念すべき私のイタリア初日だった。

その後の留学生活で「ショーペロ」という言葉をいったい何度耳にしたことだろう。交通機関は言うに及ばず、「68年」の熱気冷めやらぬ大学では学生も先生方もストに夢中だったし、なんと銀行までストをしていた。奨学金を毎月支給してくれる銀行までバスを乗り継いでたどりつくまで窓には長蛇の列。並んでじっと待つあと二人で私の番！というところで“Sciopero!”の掛け声とともに窓口のシェイドが一斉に下ろされる、あのときの情けなさときたら……、朝8時半から30分だけ営業して9時きっかりにストに突入する。イタリア人の意外な「時間厳守」にも舌を巻いた。

その後しばしば耳にするこの重要単語を、私がなぜ知っていたのだろうか。自慢ではないが、日常生活の必須語彙が信じられないほど欠如したままイタリアに行ってしまった。なんと、barすら知らなかった！「バー」といったら、銀座とか新宿歌舞伎町のものと思っていたから、住宅街の街並みにBARの看板が折り重なるようにひしめくわけを理解するのに若干時間がかかった。今なら、初級イタリア語テキストの第2課くらいで、barがバーであることがすぐに分かるのに。

当時のテキストに使用頻度の高い語彙への配慮が少なかったとはいえ、barを知らないでscioperoを知っていたというのは、なんとともバランスが悪い。なぜこのようなことになったのだろう。イタリアではscioperoが必須語彙とだれかに教えてもらったのかもしれない。しかし、後にイタリア語教材を作る立場になって思い当たるのは、scioperoという単語に、おそらく〈冠詞〉の頁で出会ったのではないかということだ。定冠詞にilではなくloを使う例としてscioperoがあったのでは？同種の単語ならlo studenteがあるし「学生」の方が「スト」より汎用性が高い。しかし、こうしたところでは-eではなく-oで終わる男性名詞を挙げたいものなのだ。

留学前に日本の大学で習ったテキストは、当時のならいで語彙よりも文法に重きが置かれていた。

文法をしっかりと教えてくださった坂本鉄男先生のほかに、老教授（と言っても今の私よりだいぶお若かったはずなのだが）がひとりいらして、「ドンナオンナ、ドンナオンナと覚えましょう」と連呼しておられた。「donnaに拡大辞-oneがついたdonnone、即ちオオオンナは男性名詞です」と、今ならセクハラで訴えられそうな発言もしておられた。当時イタリア語科20名中5名だった女子は、ふーん、そうなの……と聞き流し、特に不快とも感じなかった。もっとも、ドンノーネという言葉をもっと後耳にすることはなかったけれど。

こんな私があつかましくも教師になれたのは、ひとえに、同業者が少なくライバルもいないのんびりした時代だったためだ。勉強をきちんとしていないのを68年世代のscioperoのせいにしてきたが、たった2年下の後輩に目を見張るイタリア語のエキスパートがいたりするとそんな言い訳も通用しない。今も、我が貧しい語学力に困惑のしどおしだ。ここに冠詞は必要？てなことを在東京のイタリアの方たちに尋ねまくっている。

悩みのひとつである語彙不足は向上心欠如の当然の結末だ。20代で与えられたローマでの八か月余りを有効に活かすこともできたのに。町を歩いて目についたイタリア語をノートにこまめに書きとめるジュンパ・ラヒリ(Jhumpa Lahiri『In altre parole(べつの言葉で)中嶋浩郎訳新潮社』)の真摯で前向きな姿勢の、ほんのかけらでも身につけていたなら……。「留学したら、イタリアの空気さえ吸えればそれでいい」と自らに怠惰を許していた。何もしていなくてもなぜか決して退屈しないイタリアの空気が、その後のイタリア語人生の原動力になってくれたのは確かだが、あの頃、せめて単語くらい一生懸命覚えておくべきだったと、いたく後悔している。

さまざまなメディアを通してヴィヴィッドなイタリアを知ることができる今、重要な情報源のひとつが実用イタリア語検定だと思っている。リスニングや文法問題のさまざまなシーンが「生(なま)のイタリア」をさりげなく伝えてくれる。そんなイタ検の醍醐味も、合格対策とともに是非味わっていただきたい。

(白崎容子：元慶応義塾大学教授)



＜受験体験記＞

この度、2016年の春、イタリア語検定3級に合格する事が出来ました！受験前の私にとって、3級は、エベレスト並の高さのように感じていたのですが、試験後、ホームページに合格者が発表されて自分の受験番号を見つけた時は、全く予想外で自分でも奇跡の結果にビックリしました。イタリア語は母とのイタリア旅行をきっかけに学び始め、旅先で現地の言葉で会話する事が目標ですが、言葉が通じてコミュニケーション出来る事も旅の楽しみのひとつなので、励みになります。勉強するうち、基本的な会話だけでなく、もっとレベルアップしたいと思い、イタリア語検定にチャレンジし始めました。ゼロからのスタートなので、最初は5級からチャレンジし、30代で3級に合格する！という目標を決めて、日々努力しました。週末は、語学学校でレッスンを受けつつ、仕事以外のすき間時間を見つけて、イタリア語検定の問題集やNHKラジオ講座のイタリア語講座をフル活用してました。たとえ数分でも、気楽に聞き流す事から心がけていたので、日々の積み重ねが、リスニング力を磨く結果につながったと思います。作文は、苦手意識を克服する為、最初は気ままに書きたいまま書く事からチャレンジし、日記のような感覚で書き始めました。書いた作文は、語学学校の先生に赤ペンで添削して頂き、ご

助言を頂けたので、大変参考になり、表現力の幅を広げる事が出来ました。

目標通りに30代で3級合格を実現出来た事は、自分にとって大きな自信につながり、今後の励みになっています。今後は、次のステップを目指して、準2級合格を実現出来るようにしたいです。趣味ではありますが、今後も楽しみながら語学力を磨いて、特技にする事が目標です！

島本 房子 (第42回 2016年春季 3級合格)

(ご努力の結果、島本さんは379名の受験者中、17名しかいなかった作文満点者の一人になられました(事務局))

~~~~~

5級を取って以来、検定からすっかり遠ざかっていました。孫の世話から少し解放されたたてきたので、久しぶりに4級を受けてみようと思いました。勉強法は、文法は過去問を中心に、ヒアリングは付属のCDと語学学校のレッスンの中で学びました。60才を過ぎてから真剣にテストを受ける事はかなり疲れます。しかし、とても新鮮な気分にもなれます。ネット上で、自分の受験番号を見つけた時には思わず万才していました。

今後は3級を楽しみながら、長期戦で目指したいと思っております。Viva l'italiano!

伊勢 享子 (第42回 2016年春季 4級合格)

## 検定ニュース

### ◇2016年秋季第43回試験志願者数報告

|     | 札幌    | 仙台    | 東京       | 横浜      | 金沢    | 名古屋     | 京都      | 大阪      | 岡山    | 広島    | 福岡    | 宮崎   | 那覇  | ローマ   | ミラノ   | 計         |
|-----|-------|-------|----------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|-------|-------|------|-----|-------|-------|-----------|
| 1級  | 3/3   | 2/2   | 45/47    | 11/11   | 1/1   | 4/4     | 10/11   | 19/19   | 0     | 1/1   | 3/3   | 0    | 0   | 2/3   | 8/8   | 109/113   |
| 2級  | 1/2   | 4/4   | 118/128  | 21/21   | 1/1   | 15/17   | 19/19   | 34/36   | 1/1   | 2/2   | 10/10 | 2/2  | 0   | 5/6   | 12/12 | 245/261   |
| 準2級 | 0     | 4/4   | 107/120  | 17/18   | 2/3   | 14/17   | 11/15   | 32/35   | 1/1   | 3/3   | 5/5   | 1/1  | 0   | 2/2   | 7/7   | 210/237   |
| 3級  | 11/11 | 10/11 | 195/233  | 38/43   | 2/3   | 17/19   | 34/41   | 65/75   | 3/3   | 1/1   | 15/18 | 0/1  | 2/2 | 5/5   | 5/6   | 403/472   |
| 4級  | 9/11  | 11/12 | 224/280  | 46/54   | 4/4   | 21/24   | 51/59   | 72/90   | 7/7   | 6/6   | 32/35 | 4/4  | 3/3 | 0     | 10/10 | 500/599   |
| 5級  | 12/14 | 6/7   | 156/193  | 31/38   | 4/4   | 34/37   | 52/61   | 57/66   | 4/7   | 4/4   | 16/21 | 2/2  | 1/1 | 0     | 3/3   | 382/458   |
| 合計  | 36/41 | 37/40 | 845/1001 | 164/185 | 14/16 | 105/118 | 177/206 | 279/321 | 16/19 | 17/17 | 81/92 | 9/10 | 6/6 | 14/16 | 45/46 | 1845/2134 |

受験者数/志願者数

●準2級13ページ、作文問題のイラストに、設問に登場する人物とは異なった名前が記載されており、会場で訂正いたしました。今後、さらに校正を徹底いたします。

8月24日にイタリア中部のウンブリア州ノルチャ付近を震源として発生した地震によりお亡くなりになられた方々、被害に遭われた方々に心からの弔意とお見舞いを申し上げます。298人もの方々がお亡くなりになり(9月24日現在)、イタリアで近年発生した地震被害としては2009年に309人が命を落とした中部アブルッツォ州のラクイラ地震に次いで、2番目の規模の死者数となってしまいました。中でも、美しい避暑地として知られるラツィオ州のアマトリーチェは、町の半分が壊滅するという甚大な被害を受けています。日本のイタリアン・レストランでは、この地を発祥とするパスタ料理『アマトリチャーナ』を提供して募金を行う活動が行われています。2011年の東日本大震災では日本がイタリアから多くの支援を受けました。今度は私たちがSolidarietà(連帯)を示すときではないでしょうか。一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

### メディアを活かしたイタリア語検定学習術

インターネットが普及してから、外国語の学習方法は大きく変化しました。以前は、現地のニュースをその土地の言語で読むのに日数を要していましたが、今ではリアルタイムに、しかも無料で情報を得ることができます。「留学をしていないから語学力がない」と言うのはもはや言い訳にしかありません。インターネットがあれば現地と同じ世界を味わえるのですから、イタリア語検定試験の対策の一環としてもこれを最大限に利用しない手はありません。

イタリアは、TV 局や新聞社のインターネット・サービスが日本以上に充実しています。中でもテレビ・ラジオ局の『Rai』のアプリケーションの充実度は目を見張るものがあり、iPhone 用アプリは 28 ものタイトルを備えています。一部著作権の問題で視聴できないものもありますが、ニュースやトーク番組などをスマホにダウンロードして視聴・聴取することが可能です(\*1)。毎年 2 月に 5 日間に渡って開催されるイタリアのポピュラー音楽の祭典『Festival di Sanremo (サンレモ音楽祭)』も現地で放送された翌日には、『Rai』の HP やアプリなどで配信されるので、日本にいながら現地の熱狂ぶりを体感できることでしょう。

それから、日刊紙『La Repubblica』のモバイル版 HP(\*2)では、ユーザー登録を行えば、記事を保存 (SALVA) できる便利な機能が付いており、「後でじっくり時間をかけて読みたい」というような記事を保管しておくことができます。また、イタリアン・ポップスが大好きという方には『Radio Italia』がおすすめです(\*3)。こちらは、24 時間、イタリアの音楽だけが流れているので、音楽を通じてイタリア語を学べるのではないのでしょうか。

イタリア語について疑問が湧いたときもインターネットを活用すればすぐに答えを得ることができます。例えば今夏、世界を混乱に陥れた『英国の EU 離脱』。イタリア語も英語と同じように、これを意味する単語は Britain (英国) と exit (退出) を組み合わせた造語である『Brexit』が使われていますが、イタリア語には男性形と女性形があるため、この単語がどちらに属するのかが疑問になるところです。実際、検索バーに「Brexit; maschile o femminile? (Brexit は男性形、女性形?)」などと入力すると、こちらも答えがすぐに導きだされました。多くの人が疑問に抱いていたようで、『Il Messaggero』紙(\*4)の記事になっていました。一般的に外来語は男性形という規則がありますが、e-mail のように女性形のようなイレギュラーなケースがあります。それは、mail を意味するイタリア語が lettera であることから女性形ということになりますが、同紙には「『Brexit』は exit を意味するイタリア語が uscita であるために女性形であるという解釈に至っている」と記されていました。上記の

ように疑問がすぐに解消されない場合には、参加者同士で様々な疑問を解決し合う電子掲示板『Yahoo! 知恵袋』のイタリア語版『Yahoo! Answers』(\*5)もあるので、これを利用すると良いでしょう。きっと、親切なユーザーが納得のいく答えを出してくれるはずですよ。なお、イタリア語で情報を探す場合には、Google や Yahoo! の地域設定をイタリアに変えて検索するとより多くの検索結果が得られます(\*6)。

外国語を勉強するにあたっては、文法を学んだり、単語を暗記するだけでなく、その国の文化や人々のメンタリティーを知ることも重要です。「なかなかイタリアに旅行する機会もないし……」という方にお勧めしたいのが、現地のドラマを見ることです。イタリアのドラマが日本の地上波で放送されることはまずありませんが、有料放送の『AXN ミステリー』(\*7)では、イタリアの人気番組が視聴できます。これまでに『Il commissario Montalbano (モンタルバーノ～シチリアの人情刑事)』や『Don Matteo (マッテオ神父の事件簿)』などが放送されており、前者は今春、現地での放送で視聴占拠率 40% を記録、後者はシリーズ 10 回を数えるいずれも超人気番組です。日本の放送ではどちらも吹き替えではなく、日本語字幕が付いているので、イタリア語学習者にとっては有り難い仕様になっています。もっとも『Il commissario Montalbano』は舞台となっているシチリアの方言が頻繁に使われているので、セリフを耳で解釈することは困難。まずはイタリアの雰囲気を感じ取ってください。ドラマをネタにイタリア人との会話も一層弾むことは間違いないでしょう。

そして、紙媒体からはネットでは得られない濃い情報を得ることが可能です。フリーマガジンの『イタリア好き』(\*8)には、食に関するレポートや味わい深いエッセイと秀逸な写真が掲載されています。また、日伊協会発行の会報誌『CRONACA』(\*9)には、最新のイタリア情報が満載。政治情勢から最近の流行まで幅広い情報が掲載されています。文法を学び単語を覚えることは試験対策の上で不可欠ですが、様々なメディアを活用して現地の情報を得ることも重要な学習の一つです。みなさんも自分なりの学習方法を模索してみてください。

\* 1: <http://www.rai.it/dl/rai/appMobile.html>

\* 2: <http://www.repubblica.it/>

\* 3: <http://www.radioitalia.it/>

\* 4: <http://www.ilmessaggero.it/>

\* 5: <https://it.answers.yahoo.com/>

\* 6: Google のトップページで「設定」をクリック。「検索オプション」の「言語」と「地域」をイタリア語、イタリアに設定。

\* 7: <http://mystery.co.jp>

\* 8: <http://italiazuki.com/>

\* 9: <https://www.aigtokyo.or.jp/>



## 第 43 回検定でのアンケートから、受験者の感想などをピックアップしてみました

●試験は難しかったですが、試験監督の方の対応がとても良く、他の検定や資格試験よりも検定試験のしくみがわかりやすかったので（試験のルールなど）安心して落ち着いて受ける事ができました。また受験したいと思います。（東京）●コンビニでのプリントサービスが大変便利でした。問い合わせに迅速かつ丁寧にご対応していただき、感謝しております。次回4級を受けるときも必ずプリントサービスを利用し、また苦手のリスニングはe-ラーニング・システムで強化しようと思っています。ありがとうございました。●5級用の問題集の解説がとても分かりやすく、勉強しやすかったです。それにしても5級という割には、難易度が高いと思いました。もう少し易しいところから段階的に受けられた方が、この検定に挑戦したい人が増えると思います。●数年前からイタリア学生をホームステイで受け入れ、彼女たちは日本語が上手で不便しませんでした。家族のところに旅して話したくなり勉強を始めました。もうすぐ70歳の私はすぐ単語を忘れ、悲しくなりますが、脳が活性されると……。苦しかった。●今回初めてイタリア語検定を受けさせていただいて、イタリア語を初めてまだ半年ほどですが、とても自分のためになったと感じています。今の自分の力を見ることができ、単語力が足りないこと、ネイティブの発言だとまだまだ聞き取ることができないことが分かって今後、どこを重点的に鍛えていくかが分かりました。（5級）●リスニングはどこをしっかりと聞き取って欲しいのか、という意図が分かり、大変楽しくためになりました。（5級）●初めての受験でしたが、1教室あたりの人数が少なく、落ち着いて受けることができました。個人的にはもう少し細かい文法をきちんと学ぶこと、リスニングをしっかりとやることなど、今後勉強していく上での注意点が分かり、とても有意義な受験となりました。（名古屋）●たくさん勉強しました。この2年間、文法をしっかりと覚えたくて、理屈も含め、変化の多いイタリア語だと改めて分かりました。今回のリスニングは語と語のつながりがうまく聞き取れず、難しかったです。また、チャレンジしましょう。（4級）●一年前は5級を受けたときは運よく受かったものの、リスニングの速さにただただびっくりしていましたが、今回4級を受けてみてある程度聞き取れるようになっていた自分の耳に少し感動しました！上の級を目指してがんばります。●途中退室を認めないのは良いですね。4級もなかなか難しかったです。●主婦なので家事の合間に勉強しています。料理を煮ている間に単語を覚えたり、コツコツととにかくやっています。時間がある学生さんがうらやましい。4級受かると嬉しいです!!●勉強のための良いモチベーションになります。協会は勉強ツールの公開など頑張っていると思う。4級を4回目。なかなか合格できない。問題集は答えを覚えるほど解いている。合格のためにもう一段レベルアップする方法、アドバイスを充実させて欲しい。●隣の方が問題文を小さい声で読みながら回答されていました。開始前に注意事項に付け加えて頂けると嬉しいです。●バックの中の携帯が着信している方がいました（マナーモード）。何回か音がしていましたので、電源OFFの確認をしていただきかったです。最初の注意にもありましたが、やはり答えをつづやいている方がいらっやいました。●会場、道順、表示も分かりやすく、運営に問題ありませんでした。（東京）●5級に続き4級への挑戦でした。文法の理解が甘く、難しかったです。テストを受けて自分の勉強量の少なさを認識することで、次回のモチベーションにもつながりました。あとは、リスニングのトレーニングをしっかりしていたつもりが、声の男女差、年齢が違ふとこんなに聞き取れなくなるのかと驚きです。もっと頑張って大好きなイタリアに近づきたいと思いました。●リスニングと作文を制する者は3級を制しますね（笑）多分今回は受からないだろうなあ。また頑張ります。良い腕試しになりました。●3級は難しいと聞いていましたが、やはり難しかったです。勉強を重ねて確実に力をつけていきたいと思います。コンビニでのプリントサービスはとても便利で使いやすく、助かりました。ありがとうございました。●試験を受ける度に自分の勉強不足を痛感します。数年前から試験を受けていますが、毎年、HPのコンテンツが充実してきており、勉強する上で助かっています。●試験官の人の気配りがすごい。（東京）●初めて3級を受けました。難しかったです。後ろの席のおじさんがブツサ言っているさかかったです。●イタリア語に触れ始めてから2カ月もたないうちでの受験だった私にとっては非常に難しかったです。しかし、精一杯勉強した成果もあり、手も足も出ないという状態に陥ることはなく満足しています。次回に向けてのモチベーションを高める良いテストになりました。（3級）●会場の係の方がとても親しみやすく、和ませて下さり、分かりやすい説明をして下さって、そのおかげで緊張しませんでした。ありがとうございました。（東京）●集中して解くことができました。青学という広い会場でしたが、看板のおかげで迷わずに来ることができました。●検定試験を受けた結果は、私の勉強の成績表のようです。今日もまだまだでした。●伊検定だけが私のイタリア語学習を支えています。難しくていつも頭を悩ませるけど、でもやっぱり楽しいです。10年後も勉強している自分でいたいな……。●（準2級）●試験中のため息やびんぼうゆすりの注意などきめ細かいところが良いと思います。とても良い状況で受験できました。●過去問がコンビニでプリントアウトできるのは非常に便利。是非継続して欲しい。できる限り最新の過去問が利用できるようにお願いしたい。●難しかったです。天気も良く、空調・音響とも問題ありませんでした。時計のない教室でしたが、黒板に残り時間を書くなど、細やかな心遣いをありがとうございました。●思ったよりも難しく、逆に楽しく試験にのぞむことができました。合否にかかわらず、今後もイタリア語に触れていき勉強していきたいです。●リスニングが全くできなくて自分にショックを受けました。勉強しなおして3月にまた戻ってきます。●いろいろなジャンルの問題があって面白かったです。もっと勉強したいという意欲が湧きました。（1級）●ホームページが分かりやすく良かった。今回初めて伊検を受けたが何も困ることなく受験できた。●初めてイタリア語検定を受験しました。これまでイタリアの方々と一緒に働く中で、イタリア語を学んできましたが、きちんとした形で学習する必要性を感じました。（4級）

### ●事務局よりホームページ活用のお願い [www.iken.gr.jp](http://www.iken.gr.jp)

イタリア語検定試験のお知らせだけでなく、イタリア関係の情報・学校・リンク集など情報を掲載しております。過去の問題もe-ラーニング・システムで配信しておりますし、コンビニプリントで過去問も配布しています。また、情報交換の場として掲示板をご用意しています。ご活用いただければ幸いです。ご要望や受験体験談等、メール（[info@iken.gr.jp](mailto:info@iken.gr.jp)）でお寄せください。

### <2017年度の試験日程ご案内>

◆第44回 2017年3月5日(日) ◆第45回 2017年10月1日(日)